

項目		説明
試料・情報の 利用目的 及び 利用方法	研究課題名	病理組織検体のバイオマーカー検査における画像解析ソフトの有用性の検討
	研究対象者	当院で 2014 年 1 月-2024 年 12 月に病理組織検体を採取して、包括同意を頂いた症 例
	研究目的	現在、治療方法を選択する上で複数のバイオマーカー検査が行われている。現在では バイオマーカー検査の多くは病理医が行なっているが、近年画像解析ソフトによる評 価が可能になってきた。画像解析ソフトによるバイオマーカー検査の精度と臨床的意 義を評価し、画像解析ソフト導入の有用性について検討する。
	研究方法	バイオマーカー検査を画像解析ソフトで行い、今までの評価との一致率や治療効果判 定などの臨床経過との関連性を解析し、画像解析ソフトの有用性を検討する。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情 報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理しま す。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロ ックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西 暦 2 0 2 5 年 3 月 3 1 日 ～ 西 暦 2 0 2 7 年 3 月 3 1 日
	利用又は提供を 開始する時期	[X]総長が研究実施を許可した日 [] 西暦年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試 料・情報の項 目（チェック [X]が入った項 目を利用しま す）	[X]試料:	[]血漿、[]血清、[]全血、[]末梢血から抽出した DNA、 [X]病理検体(具体的に記載: <u>ホルマリン固定パラフィン包埋検体</u>)、 []尿、[]糞便、[]唾液、[]胸水、[]腹水、[]脳脊髄液、 []毛髪、[]その他(具体的に記載: <u> </u>)
	[X]情報:	[X]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X]年齢、[] 生年月日、[X]性別、 [X]既往歴、[]併存疾患、[]外来日・入院日・退院日、[X]臨床検査値、[X]放射線 診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[X]臨床所見・経過（予後追跡デー タを含む）、[X] ゲノムデータ、[]看護記録、[]その他(具体的に記載: <u> </u>)
試料・情報 を利用する 者の範囲	当センター研究 責任者	所属・氏名 病理診断科 鷲見 公太
	共同研究機関およ び責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および 情報公開に関する窓口		施設名：神奈川県立がんセンター・所属：病理診断科 氏名：鷲見 公太 ・連絡先：045-520-2222 （内 5117） 利用停止のお申し出は 2025 年 12 月 31 日までをお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた 場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります